



# ほけんだより 7月号

令和5年7月発行  
わんぱく保育園  
ぶんえん・キッズホーム  
看護師 横山

暑い日が続くようになり、さらに熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段からの外遊びで体を鍛え、喉が渇いていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

## 夏に多い感染症

### ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



コロナ禍により他感染症にかかる機会が減少し、免疫力が低下しています。まだまだ全国的にコロナウイルス感染症が流行していることに加え、夏に多い感染症も出てきています。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

### プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



### 手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



### 流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。



## 気になる虫刺され

乳児が蚊に刺されると、大人より反応が遅く、1～2日後に症状が出る場合があります。時間が経つにつれ赤く腫れたり、水ぼうができたりし、腫れる場合も大人よりも大きく腫れあがります。これは、虫刺されの経験が少ないために起こる激しい炎症反応です。刺された直後に水でよく洗い流し、虫さされの薬を塗りましょう。かゆみや腫れがひどいときは、冷やすといいです。またとびひ予防に爪を短く切りましょう。\*かゆみが強く、腫れが続く場合は、皮膚科を受診してください。  
・水遊びや肌の露出が増えています。患部の接触によりとびひ等皮膚からも感染する可能性があります。万一同びひとなった時には、患部が覆えないほどのものがある場合、登園をお控えください。



## 《内服薬服用時のお願い》

風邪などにより病院から処方されたお薬を内服している場合、いつもより元気がなかったり機嫌が悪かったり、薬の副作用により眠気が出たりすることで転倒などの思わぬ事故が起こることがあります。保育園にて安心・安全に過ごせるよう、また日頃よりお子さまたちの体調を把握させていただくためにも自宅にて内服薬等を服用している場合は、キッズリーの薬の欄に入力していただきますようご協力よろしくお願ひします。

### 【登園をお控えいただく場合】

発熱で早退した場合、翌日はお休みしていただき自宅にて様子を見ていただきますようご協力お願い致します。